

和気町議会だより

和気議会 NAVI

和気町議会
第76号
令和7年
3月定例会

② 新しい議会の構成が決まりました

④ 令和7年度 主要事業について ⑧ 質疑と答弁 ⑩ 委員長報告 ⑫ 一般質問



新体制 START!

新しい議会の構成が決まりました

就任のご挨拶



副議長

従野 勝

この度、議員皆様のご推挙により、副議長の要職に就くことになりました。

誠に光栄でありますとともに、その重責に身が引き締まる思いであります。

今後は議長の補佐役はもとより、議会の円滑な運営を図り、議会活性化の一翼を担いたいと考えております。

昨今、議会の役割や責務が拡大し、今まで以上に責任ある議会活動が求められています。我々議員は町民の皆様から選ばれた責任の重さを肝に銘じ、多様化する住民ニーズを的確に把握し、真摯に対応していくことが最も重要であります。

幅広い皆様の声をしっかり聞き届け、本町のより一層の発展に寄与したいと考えております。

今後とも町民の皆様のご支援ご指導をお願い申し上げます。



議長

広瀬 正 男

この度、議員皆様のご推挙により、議長の要職に就くことになりました。

大役をいただき責任の重さを痛感いたしているところであります。

議会は二元代表制の一翼を担う立場でありますことから、町民ニーズを的確に把握し、町政に反映することを大きな使命と捉え、公正公平かつ円滑な議会運営と議会のさらなる活性化に努め、町民全体の福祉と本町のさらなる発展を目指し、全力を尽くしてまいり所存でございます。

本町におきましても、人口減少対策、子育て支援、防災・減災等、取り組むべき喫緊の課題が山積しております。

このような課題の解決に向けた取り組みを迅速かつ着実に進めるべく、議会ですっきりと議論を深めながら、執行部と両輪となって「人と地域が輝く 晴れの国の 和気あいあいのまち」を目指し、誠心誠意努めてまいります。

町民の皆様におかれましては、町議会に対し、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

監査委員

当 瀬 万 享



厚生産業常任委員会



後列／神崎良一 山本泰正 我澤隆司
前列／広瀬正男 ◎山本 稔 ○山田浩子

総務文教常任委員会



後列／西中純一 当瀬万享
前列／從野 勝 ◎居樹 豊 ○山野英里

議会広報編集委員会



後列／居樹 豊 山本 稔 西中純一
前列／山野英里 ◎我澤隆司 ○山田浩子

議会運営委員会



後列／居樹 豊 山本 稔 当瀬万享
前列／從野 勝 ◎山本泰正 ○神崎良一

◎委員長 ○副委員長

東備消防組合

山田浩子
我澤隆司
山本稔
広瀬正男

和気・赤磐環境衛生施設組合

山本正
西中純一
広瀬正男

和気老人ホーム組合

山野英里
神崎良一
居樹豊
広瀬正男

組合議会

委員長
副委員長
委員

山野英里
山田浩子
從野勝一
神崎良一
山本稔
居樹豊
山本泰正
当瀬万享
広瀬正男
我澤隆司
西中純一

和気鵜飼谷温泉事業
特別委員会



3月議会の
動画一覧は
こちら

こんなことが決まりました

3月 議会定例会

令和7年3月7日～24日

令和7年度 主要事業について

一般会計



町制施行20周年
記念式典

247万円

現在の和気町が誕生して、令和8年3月1日に町制施行20周年を迎えるにあたり、町制施行を記念する式典を開催する。



乳幼児健診
DX化事業

1,009万円

乳幼児健診の実施にあたり、問診票と健診結果をデジタル化し、業務の効率化を図る。



和気鶴飼谷温泉
省エネ改修及び太陽光発電
設備等導入事業

6億6,297万円

公共施設の地球温暖化対策を推進し、温室効果ガスと光熱費の削減を図る。



藤公園藤棚
更新事業

7,973万円

棚は建築から35年以上が経過し、老朽化が進んでいることから更新工事を実施する。



小中学校給食費
無償化事業

5,447万円

児童生徒の給食費全額を町費で負担し、子育て世代の負担軽減を図る。



企業会計



和気駅地下道内水道管
布設工事

5,000万円

地下道を利用し南北を結ぶ横断管を布設することにより、水道の安定供給を図る。



下水道管路施設
点検調査診断業務

2,400万円

管路は供用開始から30年以上経過し、老朽化が懸念されるため状況調査を実施する。

請願・陳情

請願・陳情	内容	提出者	審査結果
請願	食料・農業政策の見直しを国に要請する請願書	和気・備前革新懇 会長 田口 豊作	全会一致で 趣旨採択
請願	「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」採択を求める請願	岡山県労働組合会議 議長 山本 泉	全会一致で 趣旨採択
陳情	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書	ハラスメントから職員を守る 岡山県民の会 代表 杉山 富之	全会一致で 趣旨採択

一部事務組合議会

和気町・赤磐市の一部の事務を共同で行うため、一部事務組合を設置しています。

一部事務組合の議会は、構成する和気町・赤磐市の議会から選出された議員が、予算や決算等について審議します。

(令和7年2月3日開催)

組合名	審議された内容
和気・赤磐し尿処理施設 一部事務組合	①令和6年度補正予算を決定しました。
	②令和7年度予算を決定しました。
	③和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合議会議員の議員報酬、費用弁償及び和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合特別職の報酬、費用弁償に関する条例の一部改正を行いました。
和気老人ホーム組合	①令和6年度補正予算を決定しました。
	②令和7年度予算を決定しました。

産業振興施設予算を削除

3月議会定例会において、佐伯地域に産業振興施設を建設するための、委託料と用地購入費の予算が削除されました。

設計委託料、用地鑑定委託料……………4,778万円
 用地購入費(8筆、約3,500㎡) …………… 822万円

●産業振興施設の目的は？

過疎化が進む佐伯地域に、日常生活の利便性を向上させ、地域交流の拠点を整備して、観光情報や有機農産物のPRを行う施設を整備します。

●予定地はどこ？

旧山田小学校付近の国道374号線沿いです。

●どれくらいの費用がかかるの？

設計、用地購入、建設費を含めて約5億円です。過疎対策事業債を活用します。

●主な意見

- ・日常生活の利便性の向上に必要だ。
- ・片鉄口マン街道など観光資源を生かした賑わいが創出できる。
- ・請願を全会一致で採択しているので進めるべきだ。
- ・テナント誘致の具体的な案や収支計画が示されていない。
- ・旧山田小学校を活用すべきだ。
- ・5億円の事業費なのでもっと議論を深めるべきだ。



産業振興施設建設予定地

●審査経過

厚生産業常任委員会で、関係予算を削除する修正案が提出され、賛成多数で可決されました。議員全員で出席する本会議では、修正案と原案を審査した結果、修正案賛成5名、修正案反対5名となり議長採決により修正案が可決されました。賛否の状況と各討論の内容は次のとおりです。

議案等の名称	賛否の状況									
	山野英里	山田浩子	我澤隆司	從野勝	神崎良一	山本稔	居樹豊	山本泰正	西中純一	当瀬万享
令和7年度 和気町一般会計予算(修正動議の修正案) 修正動議 人権条例に基づく隣保館管理費、集会所管理費、人権推進費などを含めた2,304万円余りを、令和7年度和気町一般会計予算から削除する修正案を提出する動議。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
令和7年度 和気町一般会計予算(厚生産業常任委員会修正案) ※賛否同数により、議長採決となった。	×	○	○	×	○	○	×	×	×	○
令和7年度 和気町一般会計予算(修正案以外の原案)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○



議案第32号 令和7年度和気町一般会計予算に関する討論

原案に賛成

居樹 豊 議員

少子高齢化により過疎化が進む佐伯地域においては、買い物、地域交通など日常生活の利便性向上と地域コミュニティの拠点として複合施設の開設がこれまで要望されてきている。

本町にとって佐伯地域の地域資源を生かした観光振興による賑わい創出は喫緊の課題であり、こうした施策の推進のための地域交流施設は、ぜひとも必要であると考えている。しかし、今回事案については、本会議でも特に質疑もなく、この施設は必要ないと関連予算を削除する修正案が提出された。修正案の提出理由は説得力に欠け、これまでの議論経過を踏まえ、初めから反対ありきとは思っていないが、十分議論を尽くしてこそ、議会本来の在り方であり、佐伯地域の振興、活性化について真剣に議論していくことが必要であると考えている。

以上、産業振興施設の整備に賛成の立場から、原案賛成の討論とする。

山本 泰正 議員

産業振興施設整備事業は、コミュニティの核である山田小学校が廃校となり非常に、さみしい思いをしている地域であること。また、風光明媚な場所であることから来訪者の集客と併せ、最適であると考えられる。

現時点での基本計画では、ふれあいの場のみならず、買い物支援施設・災害時の避難場所としての機能を持った施設でもあり当山田地域にとって必要不可欠な施設であり多くの地域住民も喜んでおり、賛成するものだ。

産業振興施設整備事業基本計画予算については令和5年度に全会一致で可決されている。今定例会の全員協議会で基本計画の詳細な説明もあり、今回実施に向けた予算として設計委託料及び用地購入費が提案された。

先般の本会議の質疑においても、特に反対意見もなく委員会付託された。厚生産業委員会においては、修正案が提出され、執行部への批判もあったものの一方的な意見だった。

本件は、佐伯地域の18地区の区長さん全員の請願要請に当時の佐伯地域の3名の議員の紹介のもと全会一致で採択されている。請願を採択した以上、議会はその実現に向け最善の努力をすべきであり、政治的・道義的責任を負うと、議員必携にも記載されているところだ。請願というものは、住民の要望を議員が紹介者になり執行部に対し事業実施するよう後押しするものだ。全会一致で採択した案件を、執行部が実施へ向けて予算化したものを反対するなど到底考えられない。

以上のことから、産業振興施設の整備を進めるべく原案に賛成する。

修正案に賛成

我澤 隆司 議員

地域振興策は重要だ。しかし、今回の提案はアイデアにも乏しく、運営のめども立っていない。

令和5年に予算化された基本計画業務作成委託料629万円の結果が提出されたのは、この3月議会の全員協議会だ。同日に令和7年度の土地購入費、実施設計委託料などの5,601万1,000円が上程された。これでは判断ができない。

内容も斬新さはない。テナント3店を予定とあるが何も決まっていない。地元の生産者組合などの動きも感じられない。

この地域に産業振興施設が必要なら、町所有の耐震化された地域のシンボルでもある旧山田小学校跡地の活用を図るべきではないか。避難所にも指定されており、より安全な大型複合施設になる。

財政的な観点からいえば、和気鵜飼谷温泉でさえ、長年の努力にもかかわらず、6年度は2億円以上、7年度も9,000万円の赤字が想定されている。人口減少局面で、これ以上継続的な町への財政負担とともに人的な負担をかけるべきではないと考える。

以上の趣旨から、修正案への賛成討論とする。

山田 浩子 議員

基本計画の中に収支計画が示されていない。

また、貸テナントを計画しているが、入ってくれそうな業者もわからない。有機農産物、地元野菜の販売についても、どういった体制でするのかヒアリングもされていない。サイクリングコースや登山コースとの連携ともあるが、土日、休日は来客が多いかもしれないが、平日やシーズンオフの集客が少なくなる日に、どのような運営をしていくのか、そういったところが全く見えてこない。

総事業費約5億円という高額な予算が必要である事業にしては、現在の計画ではあまりにも議論が深まっていないと考える。執行部、担当課の熱意も、今ひとつ感じられない。

このような現状で、今回の用地買収、実施設計委託料の予算を計上するのは時期尚早ではないか。もっと議論を深めるべき。よって、修正案に賛成する。



質疑と答弁

本会議において次のような質疑と答弁がありました。



和気町農業委員会 委員の任命

農業委員の要件は

神崎良一議員

Q ①農業委員の農業経営の状況欄に記載がないがどういふ状況なのか。
②農業をしていなくても、農業委員になれるのか。

A 岡 産業振興課長

①農業経営の状況は、農地を5アール所有している。担い手に任せているので、ここは表示はしていない。
②法が改正され、農地を持っていなくても農業委員になれる。



令和6年度 和気町一般会計補正予算

固定資産税の大幅増収は

居樹豊議員

Q 町の自主財源で一番大きな固定資産税が3000万円以上増えている要因は何か。

A 豊福 税務課長

大きく変動があったのは、太陽光発電設備の償却資産で課税標準が1億円以上の新たな投資によるものである。

令和7年度 和気町一般会計予算

デジタル基盤改革支援金とは

居樹豊議員

Q デジタル基盤改革支援金2億298万円の内容は。

A 海野 財政課長

各自自治体ごとで電算システムの委

託業務をしていたものを、国の指導の下で電算事務の標準化を全国的に進めており、国からの補助金としてこの事業に対して手当されているものである。

滞納額を減らす工夫は

従野勝議員

Q 町税の滞納額1200万(町税収入の0.8%)をどのように減らしていくのか。

A 豊福 税務課長

督促状を送るなど、時効を停止する措置を取っている。また、預金、年金、生命保険等の差し押さえも実施している。公平性の観点からしっかりと対応する。

アレルギー対応の場合は

山田浩子議員

Q 小中学校給食費無償化事業の取り組みはいいが、アレルギー対応でお弁当を持ってきている場合の対応は。

A 新田 教育次長

アレルギーを持つ子どもたちへの対応は課題でもあり、今後、検討していきたい。

意見

無償化ということで、不公平感がない、きめ細かい対応を考えてほしい。

産業振興施設の手数料は取るのか

西中純一議員

Q 委託料が4778万円、土地購入費が822万円の予算は、旧山田小学校前に予定している産業振興施設の予算だと思うが、直営で実施しようということだが、農産物を出荷したら手数料を取るのか。また、いつ開業するのか。

A 岡 産業振興課長

テナントの貸し出しを基本に考えているので、実施設計の段階で、有力な店舗、業者のほうを探していきたい。出荷に伴う手数料は取らないと考えている。開業は令和10年度を目指している。

発掘調査費3500万円はどこか

山本稔議員

Q 発掘調査費3500万円計上しているが藤野の続きをするのか。

A 森元 社会教育課長

発掘調査そのものは終わっているが調査報告書を出さなくてはいけない。その調査報告書作成業務の委託料である。

太陽光発電施設は単独費用でも実施するのが

当瀬 万享 議員

Q 補助金が出なかった場合、3億円をかけてまで、今、実施する必要があるのか。

A 太田 町長

起債で実施したいと考えている。単独費用となると、費用の回収は、県補助金を活用して、9年7か月となる見込みだ。回収後も、脱炭素にも効果があり、温泉施設の電気料金の削減にもつながる事業だと考えている。

利用者支援事業委託料とは

山野 英里 議員

Q 利用者支援事業委託料として423万7000円計上しているが、事業内容は。

A 松田 健康福祉課長

子育て支援の拡充のために、身近な場所での相談や情報提供、助言など、必要な支援を行う。子どもひろばを活用するほか、今回はプレーカーを導入する。各地区の催物などへ出向いて、親子の相談などに対応できるように体制づくりをする。

小中学生のリアルな国際交流が復活するのは

我澤 隆司 議員

Q 青少年交流事業補助金359万1000円、具体的に何か、リアルな国際交流が始まるのか。その場合、いつ誰がこの国へ行くのか。

A 寺尾 まち経営課長

遠隔交流をしているオーストラリアの学校へ実際に派遣を予定しており、先方と調整中だ。時期は、夏休み期間を想定している。対象は中学生を考えている。

交流センターの運営見通しは

山本 泰正 議員

Q 地域おこし協力隊5名を地域学習交流センター管理人として採用することだが、5名は決定しているのか。また、入居希望者の現状は。

A 寺尾 まち経営課長

協力隊5名がハウスマスターとして決定している。既に1名は12月から、4名は3月から着任し、準備を進めている。現時点の入居希望者は、在校生8名と新入生8名の16名だ。

意見

センターの健全運営に向け努力されているが、和気閉谷高校の定数確保と併せ最善の努力を再度お願いしたい。

令和7年度和気町国民健康保険特別会計予算

特定健診と特定保健指導の改善方向は

西中 純一 議員

Q 特定健診委託料1163万円、特定健診未受診者対策委託料186万円となっているが、今年の特定健診受診率の目標は。また目標達成のための方策は。

A 竹内 住民課長

40歳から74歳の2300人が対象で、7月から12月まで個別健診、1月から2月までの間に集団健診を実施する。特定保健指導では、天満屋のランニング事業部と連携して、運動指導による生活習慣改善のサポートを行いたい。受診率の目標は42%を目指したい。

令和7年度和気町国民健康保険診療所特別会計予算

日笠診療所、塩田診療所の今後をどう考えるのか

我澤 隆司 議員

Q 2つの診療所の予算、利用者も減少して、診療日も減ってきているが、地域交通と同じで、今後、どのように考えるのか。今ある施設を大事にし

て、まちづくりしていくのか、それとも人口減に応じて、閉じていくのか。

A 太田 町長

国保の運営協議会の中でもそのような議論は現在もしている。塩田の診療所については、赤磐市の診療所に引き継ぐことも議論をした経緯がある。経費の観点、利便性も考えて残したほうが良いということになっている。日笠の診療所は、今年度から診療時間も短くなった。今後、どうするかは、運営協議会の中で検討させていただきたい。

令和7年度和気町駐車場事業特別会計予算

駅前駐車場の舗装は

居樹 豊 議員

Q 曾根駐車場の工事は計上されているが、駅前駐車場の整備は必要なのか。

A 西本 産業建設部長

エレベーターの設置と併せ全体整備計画の中で進めていきたいと考えている。



質疑と答弁の動画はこちらから!

その1



その2



その3



委員長報告

和気町議会には、2つの常任委員会と1つの特別委員会があり、付託された議案について、特に詳しく審議します。



総務文教常任委員会

委員長 居樹 豊

委員会に付託された議案9件及び陳情1件について慎重に審査した結果、議案第32号令和7年度和気町一般会計予算を除く議案8件は全会一致で原案可決しました。

審査の過程で議案第26号和気町任期付町費負担教職員の任用、給与等に関する条例の一部を改正する条例について「町費負担教職員は何名いるのか、1学級の標準人数は何人か」との質疑に対して、町費負担教職員3名、1学級の県標準人数は35人だが、和気町独自の基準では、1、2年生が30人、3年生から6年生までは35名になっているとの答弁がありました。

議案第32号令和7年度和気町一般会計予算については、修正案が提出されました。修正内容は、人権事業は長年行っており、不必要な事業であり、事業を中止した方が差別解消につながるなどの理由により、隣保館管理費、人権啓発推進費などを削除する内容でした。採決の結果、修正案は賛成少数で否決しました。なお、修正案以外の審査においては「教材備品購入費6,725万円の予算の中で、タブレット端末の購入台数は何台か」との質疑に対して、現在使用している端末は、令和2年度に整備しており耐用年数(5年)が経過するため、870台を更新すると答弁がありました。

中央公民館の公園遊具についての質疑に対して、遊具の数は少なくなるが、地元との協議を含め今後検討していくと答弁がありました。

小中学校の給食無償化事業について、アレルギーのある児童に対する給食対応についての質疑に対し、年度初めに保護者と面談を行い、相談しながら進めていくと答弁がありました。

陳情第1号政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書については、賛成多数で趣旨採択となりました。

和気町独自学級編制基準を設けているので 町費負担任用教職員3人分を予算化

県基準の学級

1年生～6年生
35人
※36人から2学級

町独自基準の学級

1年生・2年生

30人
※31人から2学級

3年生～6年生

35人
※36人から2学級

和気鵜飼谷温泉事業特別委員会

委員長 西中 純一

委員会に付託された議案5件について慎重に審査しました。

議案第13号令和6年度和気町一般会計補正予算(第8号)及び議案第18号令和6年度和気町和気鵜飼谷温泉事業特別会計補正予算(第4号)は、全会一致で原案可決しました。

審査の過程で「トップセールスを含めての売り上げ達成の方策はどうなっているのか」という質疑に対して、神戸方面をメインに広告を行い、集客に力を入れた。また、ホームページもリニューアルするので準備ができ次第稼働していく。会議など様々な場面で温泉PRを行っているが、目標まで達成できていない。今後も機会があるごとに温泉PRを行いたいとの答弁がありました。

議案第30号和気町和気鵜飼谷温泉の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例については、質疑もなく全会一致で原案可決しました。

議案第32号令和7年度和気町一般会計予算及び議案第39号令和7年度和気町和気鵜飼谷温泉事業特別会計予算は、全会一致で原案可決しました。

審査の過程で「前年度売り上げ比128.1%の目標積算方法はどうか」との質疑に対し、条例改正後の宿泊費の増額を見込んでいます。温泉利用のうち大人の利用を11万8000人見込んでおり、入浴料は1回100円アップになるので、広報わけのチケット利

用者を除き10万人とすると、1000万円プラスになるとの答弁がありました。

また「1日100万円売り上げがないと駄目だが、この予算だと90万円もいかなような数字だが、どういう方策を考えているのか」との質疑に対して、今年度中にできるだけ早い時期で結果が見えるようなものを進めていきたいとの答弁がありました。

また「広告費350万円の予算を計上しているが、今後どんなスケジュールで広告をやっていくのか」との質疑に対し、ゴールデンウィーク明けの閑散期に向けて何らかの手段を考えていくとの答弁がありました。



神戸新聞に掲載した広告

委員会に付託された議案25件及び請願2件について慎重に審査しました。農業委員会委員の任命は全会一致で任命に同意しました。田原用水組合規約、令和6年度和気町一般会計補正予算、特別会計補正予算、企業会計補正予算、施設を廃止する条例、下水道条例の一部を改正する条例について全会一致で可決しました。令和7年度和気町一般会計予算については、産業振興施設の予算を削除する修正案が提出されました。

修正案に対しては「佐伯地域には必要な施設なので進めるべきだ」「議会は請願を全会一致で採択している」「基本計画の概要は示されたが、テナントの具体的な案もない」「5億円の事業なのでもっと議論を深めるべきだ」といった意見が出されました。採決にあたり、修正案に対する賛成討論、反対討論が行われ、採決の結果、修正案は賛成多数で可決、修正案を除く原案は全会一致で可決されました。



更新を予定している和気美しい森の木製遊具

修正案以外の審査においては、和気美しい森の遊具について、木製遊具を1,300万円かけて更新するとの答弁がありました。

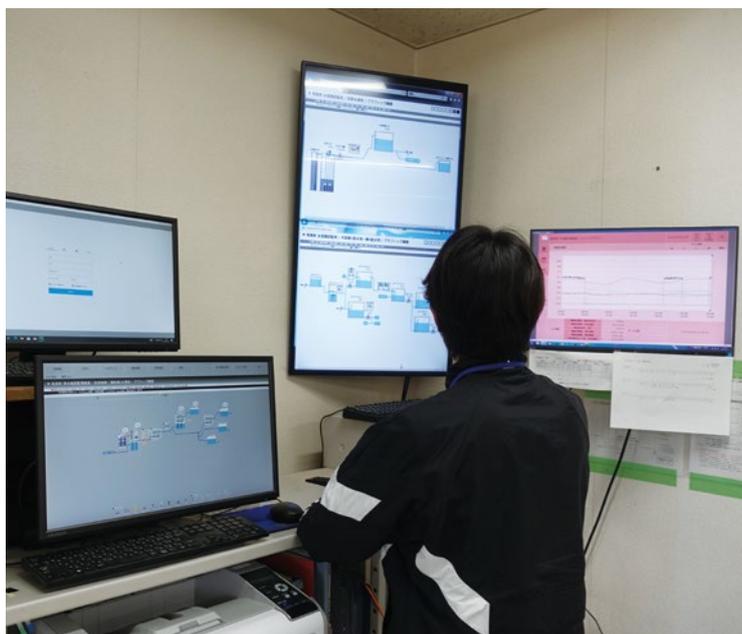
利用者支援事業、育児支援サービス利用事業については、プレーカーを活用してそれぞれの地域でのイベントの場所に出向いて、相談や遊び場の提供をするとの答弁がありました。

帯状疱疹ワクチンの補助については、2025年から定期接種になるが、節目の年齢以外の方については、引き続き受けられる制度を残すとの答弁がありました。

令和7年度特別会計予算はすべて全会一致で可決しました。令和7年度企業会計予算(水道・下水道)は、全会一致で可決しました。審査において、漏水事故に対しては上下水道課、総務事業課9名が業務用の携帯電話を持って24時間365日当番制で対応している。また、埼玉県で大規模な事故が発生したが、和気町では令和5年度に下水道管の管路調査を行っている。5年度から行っている調査では、今のところ健全であるとの答弁がありました。

道路線の認定については、全会一致で議案を可決しました。審査の中で交付税の対象になるので再調査を行ってほしいと要望がありました。

請願2件については、賛成多数で趣旨採択となりました。



水道・下水道の監視システム



ズバリ!
ここが気になる!

一般質問

〈一般質問とは〉

一般質問とは、議員が和気町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行機関(町)に求め、適切な町政運営を進めているか議員がチェックするものです。

一般質問は一問一答方式で行われ、質問時間は質問・答弁を合わせて40分間です。

議会日よりでは、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

3月議会定例会では7人の議員が質問しました。



PAGE
13

山田 浩子議員

- 人権尊重のまちづくりの推進を
- オーガニックビレッジ事業の取り組みは
- 投票所の見直しは

PAGE
14

山野 英里議員

- 安心・安全な水の確保を
- 特別精米したお米の今後の活用方法は

PAGE
15

居樹 豊議員

- 和気アルプスの登山道周辺整備を
- どうする県営泉団地の今後の管理運営
- 火葬場の使用料金の免除を

PAGE
16

我澤 隆司議員

- 中心市街地のまちづくりランドデザインをどう考えるか
- 人材に積極投資を

PAGE
17

山本 稔議員

- 告知放送の問題点は
- 町の広報誌をもっと見やすくできないか

PAGE
18

神崎 良一議員

- 和気町のハラスメントは
- 土壌水質は大丈夫か

PAGE
19

西中 純一議員

- 上下水道の事故がないような体制構築を
- タブレット端末を使った学校教育の現状と問題点は



人権尊重の まちづくりの推進を

A

様々な機会の中で
人権教育啓発に
取り組んでいる

動画はこちら



山田 浩子 議員



Q 男女共同参画推進委員会が開催されていないが。

A 則枝 総務部長

プラン策定後、コロナ禍で十分な取り組みがされていない。今後取り組んでいきたい。

Q 困難を抱える方への配慮は。

藤野会館で聴覚障害者の人権研修があり、災害時における困難な現実があることを知った。岡山市では、岡山放送に委託し、QRコードから防災に関する短編動画が取得できる取り組みを進めている。岡山放送では「シュワQ」[※]が企画、開発されている。さらなる展開として研究してみたい。

A 松田 健康福祉課長

特に聴覚・視覚障害者へヘルプマークをお持ちの方々に対する適切な対応の周知と促進は、共生社会の実現に向けた重要な取り組みの一つと考えている。岡山放送の取り組みを調査検討していきたい。

A 河野 危機管理室長

ハザードマップは、様々な困難を抱える方に向けたものになっていない。自分が住む場所の災害リスクや避難場所の把握などができるよう、点字や音声などで内容を伝える手段を研究していきたい。

意見

困難を抱える方への配慮について真剣に考える社会は、間違いなく人にやさしい社会に変わっていくことができる。



外見でわからなくても周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるヘルプマーク

※「シュワQ」 手話・字幕・音声で伝えるユニバーサルな動画サービス

オーガニックビレッジ事業の取り組みは

Q 現状と、国の補助事業最終年度となる令和7年度の取り組みは。高梁市の「大人の里山留学[※]」を研究しては。



有機農業田植祭り

して位置付けられたらと思う。

A 岡 産業振興課長

有機稲作・有機野菜栽培教室の開催、有機JAS取得に係る認証費用等の補助、学校給食への特別栽培米の提供などに取り組んでいる。団地化圃場の選定では、一部地域で前向きな回答をいただいている。今後、独自認証制度を設けて町内の有機農産物をブランド化、PRすることで消費拡大を目指す。将来的に有機農業者が十分な所得を得られるよう進めていきたい。宿泊体験農業も今後調査しながら、一つの事業と

A 今田 副町長

さらに一歩進んだ取り組みを行う。町内外の有機農業関連団体や企業との連携も深め、技術支援や販路開拓において更なる協力を得ることも視野に入れている。

※「大人の里山留学」
滞在しながら地域の暮らしや仕事にチャレンジするプログラム

投票所の見直しは

Q 当日の投票所に数十人しか来ない所もあるようだ。投票所の見直しとともに、移動期日前投票所を取り入れては。

A 則枝 総務部長

合併後16か所を引き継いだままである。高齢化に伴う人員確保が難しい、施設の環境整備が整っていない、約半数の方が期日前投票所を利

用している。このことから見直しが必要な時期である。それに伴う移動期日前投票所の導入も提案の一つである。投票所の在り方を早急に研究したい。



安心・安全な水の確保を

Q 本荘地域にある企業敷地内からトリクロロエチレンなどが検出された。今回の問題は、地域だけでなく町全体の問題ではないか。企業の対応は。

A 竹内 住民課長

平成22年、和気町衣笠地内にある事業所の土壌及び地下水を調査した結果、トリクロロエチレン及び鉛など、基準を超過していた。事業者による浄化対策が行われたが、その後も基準を超過していた。本来であれば、平成22年に県へ届出が必要だったが、届出は令和7年1月だ。町として、敷地外での汚染を確認するため、事業所に近い場所で採水した結果、基準を超過していた。

説明会の中で企業から、周辺地域の水質のモニタリング調査を年4回実施、井戸水の使用世帯を把握し、追加調査などの判断を行うとの説明があった。住民は不安に思っている。町として事業者に対し、地域住民の安心・安全に努める対応、対策を講じるように強く要請していく。

Q 企業の説明会の中で、水質検査でPFOS、PFOAなどは検査していないと言っていた。

町内でも、国の暫定目標値以下であるが、PFOS、PFOAが検出されている水源地がある。その中の南部水源地や田原水源地は今回の企業の周辺だ。

- ① 町民の健康被害の報告の有無、水を使用する上での注意点などの周知は。
- ② PFOS、PFOAなどは煮沸しても消えない。あらかじめ策を講じていくことも必要だ。南部水源地にフィルターの設置はできないか。
- ③ 今後、同じようなことが起こらないように環境を守る条例などを制定できないのか。

A 竹内 住民課長

① 現時点で健康被害に関する報告、相談はない。住民の水環境への関心が非常に高いので、広報誌などで注意点を示したい。

③ 和気町公害防止条例も制定している。条例で防げない部分は、公害防止協定がある。現時点では条例の制定は考えていない。

A 柚本 上下水道課長

② 水道水の水質検査の結果から安全なので、現時点で設置をする予定はない。しかし、その他の水質の状況も含めて、推移を見ながら、慎重かつ継続的に検討する。

南部水源地は今回の場所から、下流に約1km離れた場所に設置している。田原水源地は、同企業から約50m下流に水源がある。地下水への影響は、町の水質検査結果をモニタリングしていく。

A 太田 町長

町民の安全・安心を守るのは町の責務だ。今回と同じような事が起こらないように、今後もしっかり監視をしていく。

意見

町民の健康被害がとても心配だ。次世代に今より安心・安全な水を残していくためにも、今できることを考えて、しっかり対応していくべきだ。

A

今回と同じような事が起こらないようにしっかり監視をしていく

動画はこちら



特別精米したお米の今後の活用方法は

Q 特別精米したお米を町内の給食にも使用しているが、今後も提供していくのか。

A 新田 教育次長

化学肥料や農薬を使わない農法で栽培されたお米を、ビタミン、ミネラルなどの栄養素とうまみ成分を残した特別精米されたものを提供している。子どもたちから大変好評である。今後も可能な限り継続していきたい。

意見

特別精米されたお米は、学校給食だけではなく、ふるさと納税の返礼品、また妊婦への健康、防災時の備蓄にも寄与することができる。さらなる活用を。



おいしく、栄養がある米は大人気

山野 英里 議員





和気アルプスの 登山道周辺整備を

Q 近年、和気アルプスへは県内外から多くの登山者が訪れ交流人口も増えてきており、本町の知名度もアップし町の魅力化に寄与している。登山者からの声として簡易トイレや休憩所の整備など要望がされており、どのように考えているのか。

A 岡 産業振興課長

和気アルプスへの登山者の来訪は町としても非常に喜ばしく関係者と連携を図り、和気アルプスの魅力向上に取り組んでいきたい。休憩場所については、設置場所等について調査を進めたいと考えている。一方、トイレの設置については日常的な維持管理の問題などから現時点では難しいと判断している。また、和気アルプスを活用したイベントについては、支援を検討したいと考えている。



登山者に人気の和気アルプス

Q 登山道の入り口に公衆トイレの設置についてはどのように考えているのか。

A 岡 産業振興課長

登山口は、主に6〜7か所あるが、まず1か所に限定し、検討を進めたい。なお、山中でのトイレについては、プライバシーを確保できるブースの設置も、今後、調査研究したい。

A

休憩場所の設置等 調査を進める

動画はこちら



どうする県営泉団地の今後の管理運営

Q 泉団地の建物は、約50年以上経過し、かなり老朽化しており入居者からは耐震面などの居住環境について不安視している。また、広大な団地の防犯灯の電気代など維持管理のための区費も高額であり苦慮しているとのことである。入居者からの要望等について、どのように把握しているか。

A 西本 産業建設部長

建物は昭和45年から48年建設で、老朽化が進んでいる。入居者からの要望等については、直接、業務委託先である(株)東急コミュニティーへ連絡することとなっている。



老朽化が進む県営住宅

Q 県からの移管について以前に話があったが、その後の動きはどうなっているのか。広大な敷地の将来の活用策についての考えはあるのか。

A 西本 産業建設部長

平成27年7月に県住宅課から移管の申し出があり、移管料と土地を無償提供することであった。しかし、移管料が低額であり断った。県はあくまで移管を考えており平成29年6月に移管

料増額の提示があったが、再度受け入れしないと回答した。

A 太田 町長

今現在、町としては移管を受けない方針である。時期が来たら十分検討していきたい。

火葬場の使用料金の免除を

Q 「ゆりかごから墓場まで」と言われている社会福祉の町民最後の社会保障として、火葬場利用料1万2,000円の免除を検討してはどうか。

A 竹内 住民課長

和気北部衛生施設組合へは、町から分担金として1,800万円を支払っており、さらに補助を行うことは、現在のところ考えていない。

居樹

豊
議員





中心市街地のまちづくり グラウンドデザインを どう考えるか



全ての町民と 議論していく課題だ

動画はこちら



我澤
隆司
議員



- Q** 体育館と和気駅、図書館、中央公民館と和気閑谷高校と旧大國家住宅と役場のゾーンをどう考えるか。
- ①このゾーンのまちづくりのグラウンドデザイン(全体構想)を開示して、町民と考えることはできないか。
- ②国土交通省の提唱する「まちなかウォークカブ推進事業・居心地が良く歩きたくなるまちなか」の取り組みはできないか。
- ③シンポジウム、フォーラム、セミナーなどの開催で情報発信できないか。



隣接する和気閑谷高校と旧大國家住宅

A 寺尾 まち経営課長

①まちづくりは、和気駅周辺エリアが核になると考えている。グラウンドデザインはないが、第2次和気町総合計画後期基本計画を策定する中で検討していきたい。

②歩きたくなるまちなかは、周遊性、滞在性を高めていく上で必要な取り組みだ。

③シンポジウムなどは、まちづくりを進めていく中で開催できればと考える。

A 太田 町長

和気駅の周辺がまちづくりの核となることは明確だ。議論していく課題と考えている。

A 徳永 教育長

Q まちづくりの中で、旧大國家住宅もひとつのポイントと考える。16億円かけて修理保存が進んでいるが、とてもない文化財だ。和気閑谷高校とも隣接し、役場にも近い。連携できないか。

旧大國家住宅利活用検討委員会では、修理保存が完了後の活用方法を検討中。町民に親しまれる施設、子どもたちの学習の場となり、多くの方に和気町を訪れていただけるよう、早急に方向性を出したい。

意見

まちづくりは10年単位の話になる。スピード感を持って進めていただきたい。旧大國家住宅の活用方法は①観光②地元での活用③和気閑谷高校と役場の活用の3つの観点があると考えられる。通常の授業に使うなど、学校のブランド化につなげてほしい。役場も来客対応、表彰式など、重要な場面で旧大國家住宅を使えば、新たな価値が生まれるはずだ。

人材に積極投資を

Q 役場職員の人材開発と町民が勉強できる環境づくりは。

- ①役場職員1人当たりの人材育成コストは。
- ②民間企業と連携した業務改善、人材育成も含めてできているか。
- ③町民向けの講演会やセミナーなどの復活はできないか。

A 則枝 総務部長

①職員1人当たり約1万1,600円。民間企業平均は3万4,606円との調査結果もある。令和7年度は、特別研修生として1名を岡山県市町村課に派遣予定。県との人事交流も再開する。

②包括連携協定を結んだ天満屋グループによる接客マナーなど研修をスタートした。

意見

役場は人材がすべてだが、人材育成コストが民間の3分の1とはいかがなものか。

A 森元 社会教育課長

③教育委員会では、小学生向けに「和気町こども塾」大人向けに「わこがく講座」65歳以上に「ぎんがく講座」を開催。公民館やサエスタに行くことが困難な方には、出前講座企画にも取り組んでいる。



役場は人材がすべてだ 人材に投資を



告知放送の問題点は



色々あるが
しっかり対応していく

動画はこちら



Q 携帯電話にアプリを何%の人が入れているか把握できているか。利用にあたって苦情が出ていると思うが、解決策や対策は立てているか。私が聞いているのは音量が小さいことと、アップデートの後の対応がわからないといったものだが、対応はどのようにしているのか。

A 海野 財政課長

令和7年1月時点で町民の50%の方が利用している。今後利用拡大に向けて写真付きの情報発信や、日常的に利用できるコンテンツなど、充実させていきたいと考えている。

町民からの不満と解決策について、具体的にはタブレット端末や外部スピーカーの音量が小さいといった問題があり、配信時に音量調節ができる機能を追加し改善に努めている。アップデートについても利用者に手間がかからないよう業者と協議を進めていく。



外部スピーカーを使用した様子

Q 外部スピーカーで音量を大きくできないか。アップデート後の対応をもっと説明して分かるようにしてほしい。

A 海野 財政課長

汎用的なスピーカーが付けられないか試してみようと思っている。アップデート後の対応も、広報やタブレットで分かりやすく説明し対応していく。

Q 告知放送を使つての防災訓練はいつするのか。

A 河野 危機管理室長

令和7年度は9月7日の日曜日に防災訓練(避難訓練、情報伝達訓練、自主防災組織での訓練)を行う予定である。



町の広報誌をもっと見やすくできないか

Q 広報誌の表紙を見れば中に何が載っているのかわかるようにできないか。

A 海野 財政課長

これまで特集記事については表紙に書いていたが、主な記事の内容をいくつか取り上げて掲載できるよう検討をしていきたい。また、紙面についても、QRコードを載せホームページで見てもらい、紙面は簡潔で見やすくするよう工夫する。



中に何が載っているかわからない広報表紙

山本 稔 議員





和気町の ハラスメントは



職員の安全を守る 仕組みを検討する

Q ハラスメントについて。

- ① 町としてハラスメント、特にカスタマーハラスメントをどのように理解しているのか。
- ② 教育現場ではどうか。
- ③ その対策は。
- ④ SNSで誹謗中傷はあるか。
- ⑤ 教員の成り手不足や休職者とカスタハラ
の関係はあるのか。

A 則枝 総務部長

① 私たち地方公務員は、全体の奉仕者として行政サービスを提供する立場でやめるといった選択ができないため、カスタマーハラスメントから逃げにくい立場と十分理解している。

また、職員の精神的健康や業務効率に深刻な影響を及ぼす問題であるとは認識している。民間と異なり、完全に拒否できない公務員の立場だからこそ、組織的な対応や法的手段を活用しながら、職員の人権も尊重されて職員の安全を守る仕組みをこれからも検討していく。

A 嶋村 学校教育課長

② 社会の環境が多様化、複雑化する中で、保護者や地域からの過剰な苦情や不当な要求など、学校だけでは解決が難しい事案について、学校運営上の大きな課題との認識が全国的に強まっている。また、精

神疾患による教員の病気休職者数は増加し続けており、メンタルヘルス対策の充実、推進が喫緊の課題となっている。

③ 今後の対応については、県教育委員会において学校に対する不当要求等の問題に関し、法的観点を踏まえた適切な対応が行われるよう実施されているスクールロイヤー制度の活用がある。弁護士による法律相談が随時可能であり、必要が生じた際に円滑に対応するため、町と県の担当者が連携を図っている。

A 則枝 総務部長

④ SNSでの誹謗中傷というのは、確認は取れていない。現在、意見箱で様々な意見を集約する中で、苦情のような意見も一部見られる。そういった町民からの提言等に対して、組織全体での議論をした中で丁寧な回答に努めている。

A 嶋村 学校教育課長

⑤ 学校現場においても成り手不足の要因の一つとして考え得るのではないかとということが国の提言から推しはかれる。

A 徳永 教育長

⑤ 和気町内の学校を見たときに、現在のところ、カスタマーハラスメントによって教員が休むというような状況にはないが、このハラスメント対策についても教育委員会としても積極的に関わっていききたい。

動画はこちら



土壌水質は大丈夫か

Q ① 田原下にある会社とは協定は結んでいるか。

② 公害防止条例、事業者との協定、地区との協定で今後もこのような事態は起こらないとのことだが、実際には『発生した』ということで、何の効果も示していない現法を変えて条例制定はできないか。

A 竹内 住民課長

① 田原下の事業者とは協定締結には至っていない。

A 太田 町長

② 旧和気町で公害防止条例が1975年に制定され、JOHNAN(株)はそれ以前に誘致され、抜けていたと今思っている。条例又は和気町の公害防止協定のどちらが適用できるか考える。条例は当然適用される。協定締結も含めて今後は検討をしていく。

神崎良一 議員





A 袖本 上下水道課長

水道も下水道も小さなトラブルから大きなものまで日々発生している。現在の時点で、50万円未満の修繕が水道で150件以上、下水道で約100件、50万円から100万円が水道が4件、下水道が6件発生している。年度末までに年間300件ぐらいになると予想される。

Q 上下水道事業で年間トラブルは何件ぐらいあるか。

また、上下水道課と総務事業課で9名が当番制で夜間休日の緊急対応に当たっている。令和6年度1年間で130日出務し、単純計算で3日に1度、夜間か休日にとトラブルが発生している。

今後の管理は、水道ビジョン計画、下水道ストックマネジメント計画を基に、現状を鑑みて優先的なものから順次行う。しかし、更新事業に係る費用は、水道で100億円以上、下水道では200億円以上の莫大な費用負担となるため、計画的に更新を進めていく必要がある。



上下水道の事故がない
ような体制構築を



管理計画により進める

動画はこちら



西中純一 議員



タブレット端末を使った学校教育の現状と問題点は

Q タブレット端末を使ってどれぐらいの頻度で授業を行っているか。

A 嶋村 学校教育課長

タブレット端末は、ノートや筆記用具と同様に文房具の一つとして、およそ7割程度、授業で活用している。

Q 自宅でも使用しているのか。

A 嶋村 学校教育課長

自宅学習でも全校で活用しており、学習支援アプリの連絡帳機能を使って端末でその日の宿題や次の日の時間割を確認するようにしている学校もある。

Q 機器のトラブルは。

A 嶋村 学校教育課長

機器のトラブルでは、令和6年度中に74台を修理する予定で、令和6年度当初予算では364万3,000円を計上した。なお、不具合が生じた場合は、予備機などを活用し学習への影響がないように努めている。

Q 教師にとっての受け止めはどうか。

A 嶋村 学校教育課長

教師にとってタブレット端末は、子どもの学びを深めるための必要なツールの一つと受け止めている。



タブレット端末を使用している授業

今月の表紙

「春を彩る町木」

撮影場所：和気町内

撮影者：議会広報編集委員会

コメント：町木である桜が、町内を鮮やかに彩りました。桜を様々な角度から楽しんでもらうために、今回は写真を盛り沢山にしてみました。



一部加工・トリミングして掲載しています。



表紙写真を募集しています



あなたが撮った写真が『議会だより』の表紙になります！発行月(1、4、7、10月)にふさわしい町民の笑顔やイベント行事などの写真をお送りください。採用になったお写真は『議会だより』表紙に掲載するとともに、誌面で紹介させていただきます。また、和気町PRグッズを差し上げます。



写真はイメージです。

*詳しい応募要項は、和気町議会ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。

受賞おめでとうございます

全国町村議会議員特別表彰

当瀬万享 議員



編集後記

各地での山火事発生に恐れと脅威を感じた方は多いでしょう。岡山市でも過去最大規模の山火事となりました。自然災害はいつ起こるかわかりません。いざという時の備えをするとともに、地域のコミュニケーション力を高めていきたいと思います。

3月臨時議会において、議長をはじめ、各委員会、組合議会の顔ぶれが一新しました。それぞれの立場で役割を果たすべく、和気町のために真剣に取り組んでまいります。今後とも、よろしく願っています。

(山田浩子)



和気町議会だより 第76号 令和7年4月25日発行

和気町議会広報編集委員会 岡山県和気郡和気町尺所555番地 TEL0869-93-1121(代)
和気町議会ホームページ <https://www.town.wake.lg.jp/gyoseijoho/wakichogikai/>



和気町議会
ホームページはこちら！

和気町議会 検索